

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人 **小羊学園**

〒431-1304

静岡県浜松市細江町中川7440-1

電話：053-437-0826 FAX:053-437-0849

E-mail kohituji@imix.or.jp

H.P http://www.imix.or.jp/kohituji/

発行人：稲松義人

印刷所：聖隷サービス(有)

定 価：一部 30 円

2006年5月20日

第 283 号

「決して争ってはいけない」
でも訴えていかなければならない。

理事長 稲松義人

先日、静岡県重症心身障害児(者)を守る会(以下、守る会)の総会出席する機会が与えられました。

私は、小羊学園に就職してから二七年になりますが、これまでは知的障害児者を対象にした施設に勤務してきたため、守る会の皆さんと直接の接点はありませんでした。小羊学園でも、開園の頃から、入園している人たちの両親たちによる「父母の会」があり、(最近、保護者の役割が親からごきょうだいに移っているご家族も増えたので、昨年より「家族会」に改称された。)また、最近是在宅者の利用が増えていることもあり、知的障害関係の親御さんたちによる地元の「手をつなぐ育成会」との情報交換や連携をする機会も増えてきています。

どちらにしても、自分たちの仕事は、ご家族の皆さんたちとの信頼関係の上に成り立っている事業であることをあらためて思わされました。

さて、今回守る会のことについて認識を新たにすることがいくつかありました。静岡県の守る会が、全国的に見て早い時期から活動されていること、

守る会が結成されるのとはほぼ同じくして、創立者の山浦俊治氏は小羊学園の設立準備を始めていること、全国守る会では当初から、会の三原則を定めて、ご自分たちの運動の理念をもっておられることに感銘を受けました。標題の「決して争ってはいけない」というのは、その最初の一節です。ここで紹介させていただきます。

- 一、決して争ってはいけない、争いの中に弱いもの生きる場はない。
- 一、親個人はいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超えないこと。
- 一、最も弱いものを一人ももれなく守る。

山浦俊治氏が、小羊学園設立にあたって「小羊学園は平和運動です。」と表現されたこととダブって一層心に残りました。

二日後の六月六日、私は上京しました。障害者自立支援法によるサービスを受けるための障害程度区分の一次判定で、知的障がいのある人たちが著しく実態にあっていない評価になるということが分かり、日本知的障害者福祉協会の呼びかけで、改善を訴えるために全国から関係者が集まったのでした。

集会には、国会議員が何人も激励にきてくださいました。昨年成立したばかりの法律に対して異議ありと訴えるための集会を、成立に賛成された議員

さんが大勢応援してくださいるのは不思議な気もしましたが、このようなかたちで、五千人を超える多くの人たちが集結したのは、知的障がい関係福祉の歴史の中で初めてのことだったのでないかと思いました。

高齢者の問題と違って、障がいのある人たちの問題は、いつの時代も人口全体からすると少数の人たちの問題ということになるでしょう。しかも、障がいをもって生きる人たちの生活(人生)を考えることは、生活のすべての場面に関係があり、社会のあり方そのものを問うことになると思っています。それは難しいだろうと思います。

行政の方たちも、障がいのある人たちの生活の支援のあり方について何とか少しでもよいものにしてしまうと考えてくださっているのだと、信頼しなければならぬと思っています。重症心身障がい、知的障がいのある人たちは、それを訴えることにおいてハンディがある人たちです。ご家族の皆さんはじめ、周りにいる私たちが、彼らの訴えを代弁しなければならぬと思います。しかし、高ぶる感情を抑えて、争うのではなく、心が一つになれるように訴えていかなければならないと思えます。

二〇〇五年度

事業報告にあたって

理事長 稲松 義人

二〇〇五年度は小羊学園にとって激動の一年だった。時代が大きく動いているとすれば、何も小羊学園に限ったことではないのかも知れないが、これまで積み重ねてきたことの上に立って発想しているだけでは対応できない時代がきていることを強く感じている。

以下、この一年間の主な事業展開を挙げてみたい。

浜松市南部にデイサービス開設

二〇〇五年四月、浜松市南部の浜松福祉協働センター「アンサンブル江之島」内に、知的障害者デイサービス「マルカート」と障害児放課後等サポートセンター「ドルチェ」を開設した。同じ建物で複数の他の団体と交流しつつ事業展開するという新しい経験をしている。

小羊デイケアホーム施設種別を変更

これに併せて知的障害者デイサービスセンターに種別変更した小羊デイ

ケアホームも、新しい利用者を迎えた。年度当初は不安定な時期もあったが、次第に活動も定着し、支援費制度のもとと経済的にも採算が合う形で一年を終えることができた。

念願の重症児施設「つばさ静岡」竣工

また、数年にわたって静岡市内で開設準備をしてきた重症心身障害児施設「つばさ静岡」が昨年一〇月にオープンした。入所定員が満たされるのは二〇〇六年度となるが、すでに地域との交流が少しずつ進んでいることは嬉しいことである。

おおぞら療育センター医師配置の困難

それとは反対に、障害者自立支援法の成立等の影響を受けて、おおぞら療育センターの施設長を含む医師二名から辞任の申し出があった。これに対して後任人事に対応しきれず、聖隷福祉事業団に対して協力を依頼し、おおぞら療育センターの運営を聖隷事業団へ移管することを前提に閉鎖の事態は回避した。現在、そのための具体的な事務手続きの準備を進めているところである。現に利用者が生活する施設を閉鎖することはできず、やむを得ない決断だったが、小羊学園の歴史の中で開設された事業を手放すことは残念なことである。

トマト工房は新法人を設立

また、新法人設立を条件に小羊学園からの独立を目指した小規模授産所トマト工房は、昨年末にNPO法人「トマト会」として認証を受け、二〇〇六年二月から運営主体を新法人に移すことができた。トマト工房はもとも養護学校の保護者有志の活動を支援して開設した施設であり、当初から独立も視野に入れていたが、保護者グループの施設運営を支援することの難しさを体験した。開設から三年一〇ヶ月、小羊学園の一施設として運営された。

その他の事業展開

このほか、児童寮では浜松養護学校高等部への通学支援を始めた。また、あゆみホームでの自活訓練（地域生活移行への練習）に取り組んだ。

支援センターわかぎでも浜松市中郡町であらたな自活訓練事業を始めることができた。さらに、工房わかぎに併設してこの四月から活動を始めている知的障害者デイサービスセンター「オリーブの樹」の開設準備を進めることができた。

いまだ全容がはっきりしない障害者自立支援法の下で今後どのような事業展開がゆるされるのか、また政令市を

めざす浜松市での事業展開（特に念願の小羊学園の全面改築）はどのような影響があるのか、さらには、初めての遠隔地での事業展開となった「つばさ静岡」の今後のあり方等々、将来に向けて検討すべき大きな課題を抱えている。変革の時代、単年度のことだけでなく単純に評価することは難しいが、二〇〇五年度も、変わらずに私たちの働きに信頼を寄せてくださった利用者（保護者）の皆様、様々なかたちでご支援くださった教会関係の皆様、地域の皆様のご協力があった、過ぎる一年の事業報告ができることを心から感謝したい。ありがとうございます。

決算の概要

次ページに、社会福祉事業全体の決算書から、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書を掲載します。

全体としては、つばさ静岡の建設についてが、大きなウエイトを占めており、当初の計画より約六千万円の費用がかかったが、おおぞら療育センターからの繰入を増額してもらい対応した。知的障害関係では、小羊デイケアホームが予測よりも利用者が安定して初めて法人からの繰入なしで運営できたほか、グループホームもほぼ予定どおりに運営でき、全体として必要を満たされた一年であった。

1.貸借対照表

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	623,442	1,073,700	-450,258	流動負債	115,221	68,938	46,283
現金預金	287,985	300,559	-12,574	短期運営資金借入金	22,863	0	22,863
未収金	308,479	768,841	-460,362	未払金	90,548	68,476	22,072
貯蔵品	199	239	-40	預り金	966	462	504
立替金	3,806	3,264	542	前受け金	800	0	800
仮払金	100	30	70	仮受金	44	0	44
前払金	10	767	-757				
短期貸付金	22,863	0	22,863	固定負債	1,696,540	1,717,975	-21,435
固定資産	5,179,967	4,051,789	1,128,178	設備資金借入金	1,672,220	1,696,260	-24,040
(1)基本財産	4,743,533	3,210,770	1,532,763	退職給与引当金	24,320	21,715	2,605
土地	1,397,237	1,397,237	0				
建物	3,346,296	1,813,533	1,532,763	負債合計	1,811,761	1,786,913	24,848
(2)その他の固定資産	436,434	841,019	-404,585				
土地	8,614	8,614	0				
建物	111,691	23,698	87,993	純資産の部			
構築物	50,775	53,924	-3,149	基本金	78,443	77,165	1,278
機械及び装置	1,704	1,939	-235	基本金	78,443	77,165	1,278
車両運搬具	28,909	29,001	-92	国庫補助金等特別積立金	1,982,057	931,358	1,050,699
建設仮勘定	0	506,539	-506,539	国庫補助金等特別積立金	1,982,057	931,358	1,050,699
器具及び備品	140,357	81,103	59,254	その他の積立金	65,566	661,499	-595,933
投資有価証券	1,500	1,500	0	人件費積立金	18,566	79,566	-61,000
措置費施設繰越特定預金	28,066	88,065	-59,999	施設・整備等積立金	37,500	27,400	10,100
人件費積立預金	0	1,000	-1,000	修繕費積立金	7,900	0	7,900
施設・設備・整備積立金積立額	37,500	0	37,500	備品等購入積立金	1,600	1,600	0
修繕費積立預金	0	19,500	-19,500	その他の積立金	0	552,933	-552,933
退職共済預け金	24,320	22,088	2,232	次期繰越活動収支差額	1,865,582	1,643,979	221,603
その他の固定資産	2,998	4,048	-1,050	(うち当期繰越活動差額)	154,028	163,507	-9,479
資産合計	5,803,409	5,125,489	677,920	純資産合計	3,991,648	3,314,001	677,647
				負債及び純資産の部合計	5,803,409	5,100,914	702,495

脚注

- 1. 減価償却の累計額 1,228,469千円
- 2. 徴収引当金の額 0円
- 3. 移行時特別積立預金の積立不足額 0円

2.資金収支計算書 (一般会計)

(単位：千円)

勘定科目	予算	決算	差異
収入			
利用料収入	515,535	517,202	-1,667
措置費収入	466,744	466,669	75
保険診療収入	955,580	955,393	187
経常経費補助金収入	78,422	78,531	-109
寄付金収入	39,753	40,170	-417
雑収入	20,705	20,703	2
借入金利息補助金収入	2,260	2,258	2
受取利息配当金収入	2	7	-5
経理区分間繰入金収入	167,351	161,855	5,496
経常収入計(1)	2,246,352	2,242,788	3,564
支出			
人件費支出	1,361,053	1,359,808	1,245
事務費支出	224,778	223,768	1,010
事業費支出	317,609	316,389	1,220
借入金利息支出	9,630	9,619	11
経理区分間繰入金支出	164,355	161,855	2,500
会計単位間繰入金支出	2,900	2,900	0
経常支出計(2)	2,080,325	2,074,339	5,986
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	166,027	168,449	-2,422
施設整備等補助金収入	584,943	584,943	0
施設整備等寄付金収入	2,000	2,000	0
施設整備等収入計(4)	586,943	586,943	0
固定資産取得支出	1,295,247	1,295,182	65
施設整備等支出計(5)	1,295,247	1,295,182	65
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-708,304	-708,239	-65
借入金収入	36,000	36,000	0
借入金元金償還補助金収入	28,455	28,505	-50
積立金取崩収入	61,000	61,000	0
その他の収入	877	874	3
財務収入計(7)	126,332	126,379	-47
借入金元金償還金支出	60,041	60,040	1
積立預金積立金支出	18,000	18,000	0
その他の支出	5,130	5,089	41
財務支出計(8)	83,171	83,129	42
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	43,161	43,250	-89
予備費(10)	5,121	5,121	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-504,237	-496,540	-7,697
前期末支払資金残高(12)	1,004,762	1,004,762	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	500,525	508,222	-7,697

3.事業活動収支計算書 (一般会計)

(単位：千円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
収入			
利用料収入	517,202	446,426	70,776
措置費収入	466,668	416,997	49,671
保険診療収入	955,393	848,673	106,720
経常経費補助金収入	78,531	71,805	6,726
寄付金収入	40,170	38,226	1,944
雑収入	20,762	20,058	704
借入金元金償還補助金収入	28,505	11,601	16,904
引当金戻入収入	1,034	2,121	-1,087
国庫補助金等特別積立金取崩額	80,219	55,167	25,052
事業活動収入計(1)	2,188,484	1,911,074	277,410
支出			
人件費支出	1,359,808	1,186,051	173,757
事務費支出	234,653	203,215	31,438
事業費支出	319,224	220,216	99,008
減価償却費	147,781	108,662	39,119
引当金繰入	3,643	2,718	925
事業活動支出計(2)	2,065,109	1,720,862	344,247
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	123,375	190,212	-66,837
収入			
借入金利息補助金収入	2,258	2,528	-270
受取利息配当金収入	7	5	2
会計単位間繰入金収入	8,207	22,874	-14,667
経理区分間繰入金収入	175,058	197,997	-22,939
事業活動外収入計(4)	185,530	223,404	-37,874
支出			
借入金利息支出	9,620	16,010	-6,390
経理区分間繰入金支出	175,058	201,198	-26,140
会計単位間繰入金支出	2,900	11,448	-8,548
事業活動外支出計(5)	187,578	228,656	-41,078
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-2,048	-5,252	3,204
経常収支差額(7)=(3)+(6)	121,327	184,960	-63,633
収入			
施設整備等補助金収入	584,943	17,002	567,941
施設整備等寄付金収入	2,000	0	2,000
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	1,268	-1,268
その他の特別収入	2,448	3,314,253	-3,311,805
特別収入計(8)	589,391	3,332,523	-2,743,132
支出			
国庫補助金等特別積立金積立額	551,327	39,809	511,518
固定資産売却損・処分損	213	80	133
その他の特別損失	5,151	3,314,087	-3,308,936
特別支出計(9)	556,691	3,353,976	-2,797,285
財務活動資金収支差額(10)=(8)-(9)	32,700	-21,453	54,153
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	154,027	163,507	-9,480
前期繰越活動収支差額(12)	1,668,555	1,486,472	182,083
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	1,822,582	1,649,979	172,603
基本金取崩額(14)	0	0	0
基本金組入額(15)	0	0	0
その他の積立金取崩額(16)	61,000	0	61,000
その他の積立金積立額(17)	18,000	6,000	12,000
次期繰り越し活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	1,865,582	1,643,979	221,603

創立四〇周年を祝う

小羊学園児童寮・青年寮では、今年もいつもどおり四月二十九日に、創立記念日のお祝いをしました。ご来賓をお招きしての特別な式典ではありませんでしたが、今回は四〇周年ということで、旧職員やボランティアの皆様など、遠くから近くから例年より多くの方がお集まりくださいました。

会場はゆとりを考えて、お隣りの聖隷クリストファー大学第二体育館をお借りしました。日本キリスト教社会事業同盟の理事で鳥居坂教会（東京）牧師の張田眞先生の司式で記念礼拝をし、その後、聖隷クリストファー高校の吹奏楽部の演奏をバックに、全員で「小さななごに花を入れ」を歌いました。吹奏楽部の皆さんは、利用者の皆さんも楽しめる選曲で和やかな雰囲気を出してくださいました。



40周年記念礼拝

午後は、小羊学園に会場を移し、お弁当の昼食をいただき、喫茶コーナー展示コーナーなどで楽しみつつ、懐かしい人たちとの再会を喜びました。



吹奏楽をバックにみんなで踊る

アンサンブル江之島一周年

六月一〇日に、浜松福祉協働センターアンサンブル江之島の一周年記念イベントが催されました。小羊学園もデイスーパービス「マルカート」、放課後サポートセンター「ドルチェ」の事業で参加しており、他の事業者との協働での取り組みでは、これまでとは違った経験を行うことができました。地元の人たちが集まり、地元の民生委員さんや小学校の校長先生にもお願いしてシンポジウムが開かれ、地域に根ざした今後の活動の可能性について、集まった皆さんの理解を得ることができたのではないかと思います。

平成十七年度 共同募金受配事業報告

小羊学園青年寮では、利用者の日中活動の一環として、地域のご家庭にご協力いただき、リサイクル活動（廃品回収）に取り組むようになって二〇年以上が経過しています。

これまででは、職員等の手作りで作った粗末な小屋を倉庫として使ってきましたが、古くなり傷みも激しくなっていました。今回、昨年度の共同募金受配を受けて、新しく大きなリサイクル活動用の倉庫を購入することができました。

総事業費 八〇〇、〇〇〇円

共同募金 五五〇、〇〇〇円

自己資金 二五〇、〇〇〇円

以上、感謝をもってご報告いたします。



リサイクル活動用倉庫

◆ 看護師さん探しています

重症心身障害児施設「つばさ静岡」（静岡市葵区城北）では、障がいのある人たちの医療的ケアを支えてくださる看護師さんが足りなくて困っています。関心のある方、お心当たりのある方、ぜひご連絡ください。

また、浜松地区の知的障害関係施設でも、日勤パートの看護師さんを探しています。こちらもご連絡お待ちしております。

つばさ静岡 担当：羽山（はやま）

電話（〇五四）二四九一二八三〇

小羊学園 担当：雨宮（あめみや）

電話（〇五三）四三七一〇八二六

編集後記

四月から施行された障害者自立支援法で、利用者の負担は大幅に増額となりました。事業（施設）の枠組みについては、障害程度区分判定のゆくえを見守りつつ、未だ暗中模索の状況です。創立記念日の後、ずっと気になっていたつぶえをやっと発行することができました。定期的に発送できずご迷惑をおかけしています。身近な方たちにお詫びすると、かえって忙しさをお気遣いいただき励まされます。雨が上がるたびに蒸し暑さが身に伝えます。皆様にもどうぞご自愛ください。（一）